

微分的应用 基礎 小テスト (No.2) 解答例

1. 次の関数の増減を調べよ。

(1) $y = x^4 + 4x^3 + 4x^2 + 1$

(解) $y' = 4x^3 + 12x^2 + 8x = 4x(x^2 + 3x + 2) = 4x(x+1)(x+2)$

$y' = 0$ から $x = -2, -1, 0$

増減表をつくると

x	...	-2	...	-1	...	0	...	
y'	-	0	+	0	-	0	+	
y		↘	1	↗	2	↘	1	↗

よって、 $x < -2$, $-1 < x < 0$ のとき 減少、
 $-2 < x < -1$, $0 < x$ のとき 増加である。 ”

(2) $y = x^4 + 4x$

(解) $y' = 4x^3 + 4 = 4(x^3 + 1) = 4(x+1)(x^2 - x + 1)$

ここで、 $x^2 - x + 1 = x^2 - x + \frac{1}{4} + \frac{3}{4} = \left(x - \frac{1}{2}\right)^2 + \frac{3}{4} > 0$ であるから

$y' = 0$ から $x = -1$

増減表をつくると

x	...	-1	...	
y'	-	0	+	
y		↘	-3	↗

よって、 $x < -1$ のとき 減少、
 $-1 < x$ のとき 増加 である。 ”

2. 次の関数の極値を求め、グラフの概形をかけ。

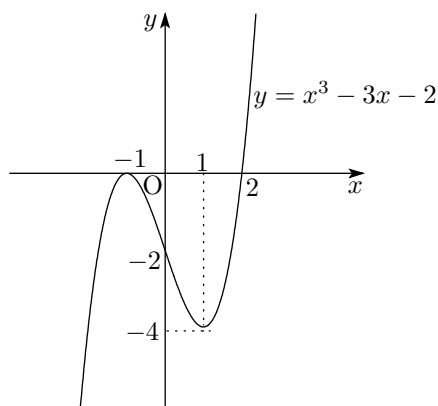
(1) $y = x^3 - 3x - 2$

(解) $y' = 3x^2 - 3 = 3(x^2 - 1) = 3(x+1)(x-1)$

$y' = 0$ から $x = -1, 1$

増減表をつくると

x	...	-1	...	1	...	
y'	+	0	-	0	+	
y		↗	0	↘	-4	↗

よって、 $x = -1$ のとき 極大値 0
 $x = 1$ のとき 極小値 -4 をとる。 ”

(2) $y = x + \frac{1}{x}$

(解) $y = x + \frac{1}{x} = x + x^{-1}$

$y' = 1 + (-1)x^{-1-1} = 1 - x^{-2} = 1 - \frac{1}{x^2} = \frac{x^2 - 1}{x^2} = \frac{(x+1)(x-1)}{x^2}$

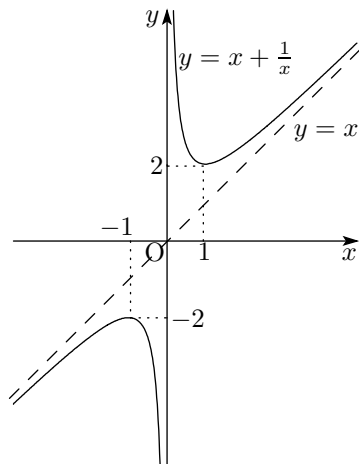
$y' = 0$ から $x = -1, 1$ また、 $x = 0$ では、 y, y' は定義されていないから
増減表をつくると (直線 $x = 0$ が漸近線になる。)

x	...	-1	...	0	...	1	...
y'	+	0	-	/	-	0	+
y	↗	-2	↘	/	↘	2	↗

よって、 $x = -1$ のとき 極大値 -2 $x = 1$ のとき 極小値 2 をとる。 ..

$y = x + \frac{1}{x}$ と $y = x$ の差をとり、 $x \rightarrow \pm\infty$ の極限值をとると

$\lim_{x \rightarrow \pm\infty} \left\{ \left(x + \frac{1}{x} \right) - x \right\} = \lim_{x \rightarrow \pm\infty} \frac{1}{x} = 0$ よって、 $y = x$ は漸近線である。



3. 関数 $y = x^4 - 2x^2 + a$ の極大値が正、極小値が負となるように、定数 a の範囲を定めよ。

(解) $y' = 4x^3 - 4x = 4x(x^2 - 1) = 4x(x+1)(x-1)$

$y' = 0$ から $x = -1, 0, 1$

増減表をつくると

x	...	-1	...	0	...	1	...
y'	-	0	+	0	-	0	+
y	↘	$a-1$	↗	a	↘	$a-1$	↗

よって、 $x = 0$ のとき 極大値 a 、

$x = \pm 1$ のとき 極小値 $a - 1$ をとる。

条件より、極大値は正、極小値は負であるから

$\begin{cases} a > 0 \\ a - 1 < 0 \end{cases} \quad \begin{cases} a > 0 \\ a < 1 \end{cases} \quad 0 < a < 1 \quad ..$